

ありだ 有田市



みかんの花



椎の木

HPアドレス <http://www.city.arida.lg.jp/>



みかん畑

市名の由来

この地方の最初の呼び名として、「阿提^{あて}」と日本書紀に記録されています（689年）。「阿豆^{あて}」「足代^{あて}」などともありますが、その後「安諦郡^{あて}」となり、806（大同元）年に「在田^{ありた}」と改められたと『日本後紀^{こうき}』に記されています。これが、明治の時代までになるまでに「有田^{ありだ}」となり、現在に引き継がれています。

市章の由来

円形は特産物のみかんの果実を表し、2本の角枝は葉を示すとともに、有田市の将来の発展を^{しょうちやう}象徴しています。

市の紹介

有田市は、和歌山県の北西部、県庁の所在地である和歌山市から南へ約25kmのところ、有田川の^{かこう}河口近くに位置する人口約3万3千人、面積約37km²の海、山、川の自然に恵まれたところです。

霊峰高野山を源として紀伊水道に注ぐ有田川は、この地方の母なる川であり、歴史、文化など、互いに深い^{たが}かかわりを保ちながら発展してきました。気候は瀬戸内海気候区、南海気候区との接続地帯に当たり、紀伊水道に面しており、年平均気温は摂氏16℃と温暖です。年間平均降水量は1,600mm程度、積雪はまれです。

おもな産業は、農業、漁業、石油、その他^{じば}地場産業の蚊取り線香や作業用手袋^{てぶくろ}の製造などです。有田市へは阪和自動車道の海南IC、または有田ICで降りて、国道42号線で約20分、鉄道の場合は、JRきのくに線特急くろしおで、天王寺^{てんのうじ}駅から箕島^{みのしま}駅までは、約1時間です。

まちづくりの目標としては、いつまでも変わることのない基本理念に近づくために、3つの将来都市像をもち、実現を支える5本柱とするため、それぞれの分野に基本方針^{かか}を掲げています。

(基本理念)

「あなたとわたしがつくる美しい^{かいてき}快適なまち 有田」

(将来都市像)

1. 市民が主役になったまち
2. 自然・文化・歴史と産業^{ちやうわ}が調和した美しい豊かなまち
3. 人と人が活発に交流する楽しく快適なまち

(分野ごとの基本方針)

- ①安全で住み良い有田づくり
- ②美しく快適な有田づくり
- ③豊かで活力ある有田づくり
- ④有田をつくる人づくり
- ⑤有田を支える行政改革



有田川河口